

一般質問



熱中症対策の具体的な取り組みを



湖南省公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

問 文化財保護活用の現状と今後の計画について

答 令和3年度から再開された文化財保護審議会からの助言・指導のもと定めた市指定文化財指定基準に基づき新規指定を進めています。「湖南三山紅葉めぐり」といった文化財活用は3万人以上の観光客が訪れるようになりました。また10月から県立美術館で湖南省の文化財が展示されます。

問 認定されると各省庁の事業の補助金の率が高くなるなどメリットの高い「文化財保護活用地域計画」は、指定される文化財だけでなく地域の大切に守りたい財を市民と協同して作り上げていく過程での効果も大きいとされる。着手するべきではないか。

答 予算措置や組織体

制の整備など整えながら策定をめざしてまいります。

問 「気候変動適応法」の改正で、熱中症対策が追加された。本市でも①環境整備として公共施設やまちづくりセンター、店舗などをクーリングシェルター（暑さの避難ができる場所）に指定してはどうか。

答 それぞれの事業を所管する部署にて検討し、関係部署・機関と連携をしながら、まちづくり協議会や企業への呼びかけを含め、先進地の優れた取り組み事例を参考にしていきたいと考えます。

◎他に②特に独居高齢者への啓発③学校現場での取り組みについて質問しました。

◎別項目で「女性の就労支援」についても質問しました。



安全なまちづくりについて



会派 きずな ● 望月 卓 議員

問 平成25年9月に発生した大規模浸水被害後の東庁舎周辺地先の浸水被害対策について

答 昨今の異常気象に伴う集中豪雨や頻発する線状降水帯の発生により、市内各所において冠水や溢水が発生している状況です。内水氾濫対策には、治水能力の引き上げが必要であり、流末となる野洲川の改修だけでなく、野洲川の支流や更にその支流の改修が急務であると考えています。引き続き、家棟川等、現状の一級河川の流下能力を最大限発揮できるよう、必要な浚渫工事や河道内の伐木等、措置が講じられるよう滋賀県に強く要望していきたいと考えています。また、緊急対応として、冠水が頻発する市道側溝については、原因を検証し、緊

急維持工事などで横断側溝の新設等も含め対応を検討していきたいです。

問 雨量計設置箇所とその活用内容について

答 雨量計は市内3箇所にあります。十二坊温泉ゆららの南側約400メートルの所と、丸山公園にある2箇所は、滋賀県の砂防事業による設置で、滋賀県甲賀土木事務所が管理し、雨量データは、滋賀県土木防災情報システムにより、瞬時にネットで、一般公開されています。3箇所目は、東庁舎にあり市が管理しており、災害時のパトロール出動判断や、降雨量確認・証拠データ等に活用しています。

